

<参考資料>

2010年10月25日
株式会社博報堂DYホールディングス

生活者の情報接触から購買までの情報行動を可視化し構造化するPDCA支援ツール 「Vision-Graphics™ (ヴィジョン・グラフィックス)」の開発および導入について

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区 社長：戸田裕一 以下博報堂DYホールディングス）は、得意先企業のマーケティング活動のPDCAを支援するツール「Vision-Graphics™ (ヴィジョン・グラフィックス)」を開発し、テスト導入をすることになりましたのでお知らせいたします。

今回開発した「Vision-Graphics™ (ヴィジョン・グラフィックス)」は、多様なマーケティング関連データを集約し、それらのデータの関係性を可視化することにより、生活者の情報接触から購買・コンバージョンまでの情報行動を構造化するツールです。

具体的には、①広告・広報露出やWeb上の評判・検索行動データ、得意先サイトへのアクセス行動や関連するライフログデータ（※1）、販売関連データなどの幅広いデータを集約していること、②それらのデータを容易かつ迅速に実装できる実用性の高いツールであること（既に一部の商品・業種カテゴリーについてはデータの実装を完了）、③得意先企業のデータを追加することで、よりカスタマイズしたサービスを提供できること、④各データを横断的に解析することで、Web領域のみならずマス広告領域の活動とその効果や、最終的な購買・コンバージョンへの影響を統合的に把握する分析メニューを提供できること、などの特徴を備えています。

導入に関しては、本年11月からテスト運用を開始し、来年度早々には博報堂・大広・読売広告社をはじめとする博報堂DYグループの各広告事業会社を通じ、広告主へ提供する予定です。

博報堂DYグループは中期経営計画で掲げた「次世代型の統合マーケティング・ソリューションの実践を通じて、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現する責任あるパートナーになる。」ことを中期基本戦略としています。今後も「マーケティング・テクノロジー」（※2）に関する博報堂DYグループ共通のナレッジ開発を担当する「マーケティング・テクノロジー・センター」（室長：中谷吉孝）を中心に次世代の競争基盤となるナレッジの開発・整備を行っていく予定です。

（※1）「ライフログデータ」とは、全Webを対象とした、生活者のWebサイト回遊履歴データ

（※2）「マーケティング・テクノロジー」とは、企業のマーケティング活動全体におけるPDCAサイクルを効果的かつスピーディに回すための科学的アプローチや手法、技術のこと。

以上

本件に関するお問い合わせ先

博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 小澤・西尾
(TEL:03-6441-9062)



読みやすさを追求した書体を使用